



中濃記者会同時配布

令和元年10月31日(木) 岐阜県発表資料			
所 属	担当係	担 当 者	電 話 番 号
森のようちえん全国交流フォーラム i n ぎふ実行委員会	—	小野 敦	携帯 090-4793-9508
恵みの森づくり推進課	木育推進係	井田琢也	内線 3031 直通 058-272-8821 FAX 058-278-2702

## 「第15回森のようちえん全国交流フォーラム i n ぎふ」の開催について

県では、「ぎふ木育」として、森林との関わりから未来を担う人材を育成する取組みを進めており、その一環として、自然の中で子育てに取り組む「森のようちえん」(※1)の活動を支援しています。

このたび、森のようちえん・自然保育等の実践者(民)、研究者(学)、行政(官)が連携し、森林を活用した遊びや育ちについて考えるとともに、その魅力を全国に発信するため、「森のようちえん全国交流フォーラム i n ぎふ」を下記のとおり開催します。

### 記

- 1 開催日 令和元年11月2日(土)～4日(月・祝)
- 2 開催場所 岐阜県立森林文化アカデミー(美濃市曾代88)
- 3 参加者 森のようちえんの実践者及び興味関心のある者、幼児教育・保育・子育て支援等の関係者・行政関係者・研究者、自然体験活動団体や森林環境教育団体等のスタッフ等 約1,000人程度
- 4 内 容
  - <11月2日(土)>
    - 開会式(開会宣言、挨拶、ぎふ森のようちえんアワード表彰)(※2)
    - 開催記念基調講演(涌井史郎氏: 県立森林文化アカデミー学長)
    - 特別講演(竹内洋岳氏: プロ登山家・立正大学客員教授)
    - GIFU ナイトセッション
  - <11月3日(日)>
    - 分科会A、B、C(各2時間)  
「子ども」・「コミュニケーション」・「自然」・「運営」の4つのカテゴリーと「保育」・「親子」・「遊び」・「安全」・「行政」などの18のキーワードを掛け合わせた31の分科会を開催
    - 大交流会(参加者同士の交流会)
  - <11月4日(月・祝)>
    - フリー分科会(参加者による分科会、1時間)
    - ふり返り、トークセッション
    - 閉会式

- 5 主 催：森のようちえん全国交流フォーラム i n ぎふ実行委員会（実行委員長：浅井智子<sup>あさいともこ</sup>）  
 共 催：NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟、  
 ぎふ森 遊びと育ちネットワーク、岐阜県

(※1) 「森のようちえん」について

- ・森など自然の中での体験を通じて子育てに取り組む様々な保育活動。
- ・実施形態として、保護者らが中心となり実践する自主保育の形態、保育園・幼稚園等が園の活動としての取り組む形態、行政やNPO法人等がイベント的に行う形態など様々な形態がある。

(※2) <ぎふ 森のようちえんアワードについて>

1. 趣旨

- ・森などの自然を活用した子育て・保育・幼児教育に取り組む活動のうち、他の模範となる優れた活動を行う団体・個人を表彰し、その取組みの推進と県民への認知度の向上を図ることを目的として、今回の全国フォーラムを契機に、創設したもの。
- ※賞状及び副賞（活動に必要な物品等を20万円相当／団体（副賞は後日贈呈））

2. 今年受賞者一覧（3件）（50音順）

受賞者	評価理由
(一社) こどもの庭 (美濃加茂市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を利用した保育活動等を行いながら、そのフィールドで活動する里山活動団体と連携し、里山遊びや里山整備等を実施。</li> <li>・スタッフの救命救急講習受講、森のようちえん全国ネットワーク連盟の団体安全認証取得、安全管理マニュアル整備など、安全管理体制が充実している。</li> </ul>
美濃加茂市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年3月に「里山千年構想」を策定し、里山を子供たちの学ぶ場所として位置づけ整備と利用を推進。</li> <li>・清流里山公園等において、自然を利用した保育・自然体験活動イベントの開催や地域住民・保護者など市民を巻き込み「子どもたちが里山で遊べる環境づくり」を目的とした里山整備に取り組む。</li> </ul>
(一社) MORIWARA 自然育児 森のわらべ多治見園 (多治見市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2009年6月から、自然を利用した保育活動等を開始（県内初）。</li> <li>・市内公立保育園と交流、自然を利用した保育体験会の開催、交流イベントを行うなど、森のようちえんの取組みをリードしている。</li> <li>・保護者とスタッフの救命救急講習受講、森のようちえん全国ネットワーク連盟の団体安全認証取得、安全管理マニュアル整備など、安全管理体制が充実している。</li> </ul>